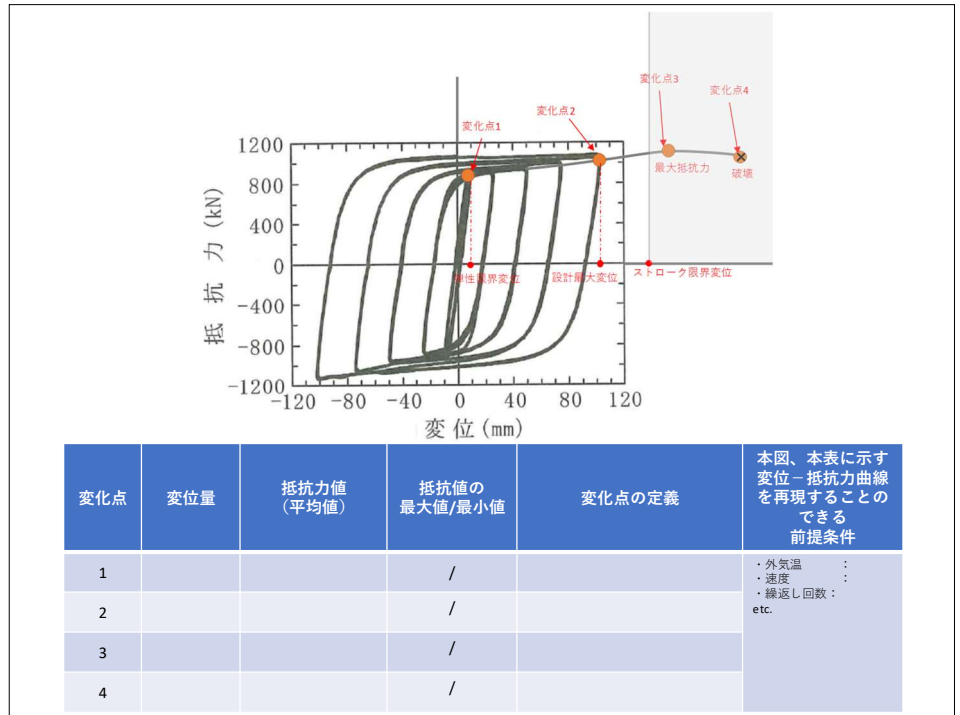


性能評価項目確認書

耐荷性能に関する情報

①変位－抵抗力曲線の変化点の定義, ②変化点の特性値とそのばらつき, ③変位－抵抗力曲線を再現することのできる前提条件



A-1

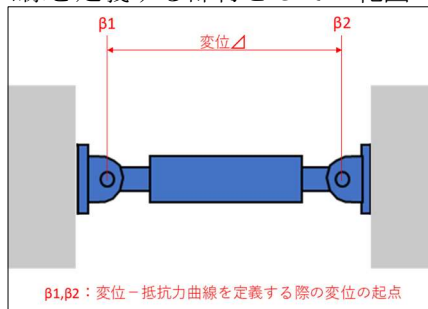
基本性能情報

例 A 図 1. 変位－抵抗力曲線の定義の図示例

- ・本性能は、当該技術を、橋を構成する部材として使用する場合にその静的な変位－抵抗力関係が明確となっていることを求めるもので、粘性型ダンパー等、支承部を構成する部材の一部として減衰抵抗のみを有し剛性抵抗を有していない技術については記載不要です。
- ・抵抗する方向が複数ある場合は、変化点の定義（例 A 図 1.の図示）は、「技術基本情報」に挙げる例基図 1.の各作用力の方向について提示してください。
- ・抵抗力については、値に“ばらつき”がある場合には、その最大値、最小値を提示してください。
- ・抵抗力値が温度等環境条件により異なる場合は、当該技術が標準とする条件下での変化点の値を提示いただければ結構です。
- ・性能根拠としては、上表の値の設定根拠であり、設定した際の性能試験結果等を添付してください。

・性能根拠資料の添付：あり / なし（添付資料 No. : ）

④変位－抵抗力曲線を定義する部材としての範囲



例 A 図 2. 変位－抵抗力曲線定義の際の変位の起点の図示例

性能評価項目確認書

基本性能情報	A-2	耐久性に関する情報	①設計耐久期間： 年 ②経年の影響に対する耐久性を確保する方法の区分と具体的な方法 <p style="text-align: center;">例 A 表 1. 耐久性を確保する方法の表示例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #4a7ebb; color: white;"> <th style="width: 10%;">耐久性項目</th> <th style="width: 10%;">対象箇所</th> <th style="width: 10%;">確保する方法区分</th> <th style="width: 50%;">具体的な方法</th> <th style="width: 20%;">根拠資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防食性</td> <td>ダンパー本体</td> <td>方法2.</td> <td>外面塗装により防食性能を確保。</td> <td>添付資料-〇</td> </tr> <tr> <td>防食性</td> <td>内部鋼板</td> <td>方法1.</td> <td>設計耐久期間中に想定される腐食による減肉量をあらかじめ腐食代として板厚に考慮することにより確保。</td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・方法 1. 目標とする設計耐久期間に対して、本技術を構成する材料の機械的性質や力学的特性等の経年変化が生じる可能性を具体的に定量評価し、これを考慮した断面とすることで耐久性を確保する方法 ・方法 2. 無対策では経年による影響が無視できない技術に対して、本技術を構成する材料自体には耐久性能を満足するための対策はとらず、本技術の耐荷性能には関係しない別途の措置を講じることにより耐久性を確保する方法 ・方法 3. 目標とする設計耐久期間において本技術を構成する材料の機械的性質や力学的特性等に経年の影響が現れる可能性がないか、無視できるほど小さい材料を使用することで耐久性を確保する方法 <ul style="list-style-type: none"> ・耐久性能の根拠となる資料の添付： <input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし (添付資料 No. :) ・耐久性能が確認された過去の使用実績の添付： <input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし (添付資料 No. :) 	耐久性項目	対象箇所	確保する方法区分	具体的な方法	根拠資料	防食性	ダンパー本体	方法2.	外面塗装により防食性能を確保。	添付資料-〇	防食性	内部鋼板	方法1.	設計耐久期間中に想定される腐食による減肉量をあらかじめ腐食代として板厚に考慮することにより確保。											
耐久性項目	対象箇所	確保する方法区分	具体的な方法	根拠資料																								
防食性	ダンパー本体	方法2.	外面塗装により防食性能を確保。	添付資料-〇																								
防食性	内部鋼板	方法1.	設計耐久期間中に想定される腐食による減肉量をあらかじめ腐食代として板厚に考慮することにより確保。																									

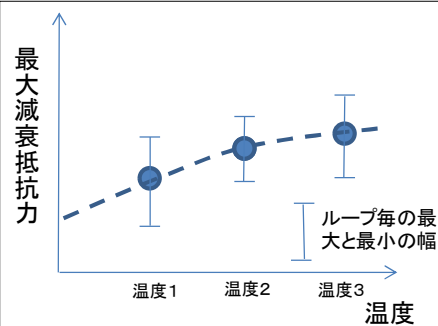
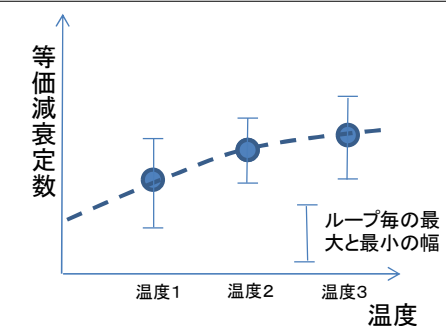
性能評価項目確認書

依存性情報	B-1	依存性のある因子の抽出	<p>①減衰効果に影響を及ぼす依存性因子：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 依存性の有無：<input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし・ 振幅速度・ 粘性体温度・ 振幅変位量・ 繰返し振幅回数 <p>・ 減衰効果に影響を及ぼすことが明らかとなっている因子を全て列挙してください。依存性因子が全くない場合には、上記“なし”欄にチェックを入れてください。</p>
-------	-----	-------------	--

性能評価項目確認書

依存性情報	B-2	各種依存性に関する情報 (速度依存性の提示例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着目する依存性因子： 振幅速度 ・ 依存性情報は、依存性因子ごとに提示してください。 ・ 依存性情報は、減衰抵抗が複数の方向にある場合は、「技術基本情報」に挙げる例基図 1.の減衰抵抗力の作用力の方向ごとに提示してください。 <p>① 依存性に関する定量的情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依存性の評価指標： 最大減衰抵抗力、等価減衰定数 																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #4F81BD; color: white;"> <th colspan="4">載荷制御条件</th> <th colspan="2">1回目の値</th> <th colspan="2">2回目からn回目までループの平均(ア)</th> <th colspan="2">2回目からn回目までのループの変化率の最大</th> </tr> <tr style="background-color: #D9E1F2;"> <th>依存性着目ポイント名称</th> <th>速度</th> <th>最大変位</th> <th>繰返し回数</th> <th>等価減衰定数</th> <th>最大減衰抵抗力</th> <th>等価減衰定数</th> <th>最大減衰抵抗力</th> <th>等価減衰定数</th> <th>最大減衰抵抗力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(速度1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(速度2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(速度3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※変化率=(各回の値-平均値(ア))/平均値(ア)</p>			載荷制御条件				1回目の値		2回目からn回目までループの平均(ア)		2回目からn回目までのループの変化率の最大		依存性着目ポイント名称	速度	最大変位	繰返し回数	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	(速度1)										(速度2)										(速度3)									
載荷制御条件				1回目の値		2回目からn回目までループの平均(ア)		2回目からn回目までのループの変化率の最大																																												
依存性着目ポイント名称	速度	最大変位	繰返し回数	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力																																											
(速度1)																																																				
(速度2)																																																				
(速度3)																																																				
例 B 図 1. 速度依存性の図示例																																																				
<p>② 依存性情報の再現性が担保できる前提条件：</p> <ul style="list-style-type: none"> 外気温：○℃、繰返し回数：○○回、最大変位：○○mm 試験体の数：○試験体 <p>・ 上記依存性データの根拠となる資料の添付： <input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし (添付資料 No.：)</p> <p>③ 依存性情報の“ばらつき”の要因として考えられる事項：</p> <p>④ “ばらつき”について補正が可能な項目については、その項目と補正の方法：</p>																																																				

性能評価項目確認書

依存性情報	B-2	各種依存性に関する情報(温度依存性の提示例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着目する依存性因子：粘性体温度 ① 依存性に関する定量的情報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 依存性の評価指標：最大減衰抵抗力、等価減衰定数 																																															
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #4a7ebb; color: white;"> <th colspan="4">载荷制御条件</th> <th colspan="2">1回目の値</th> <th colspan="2">2回目からn回目までループの平均(A)</th> <th colspan="2">2回目からn回目までのループの最大変化率の最大</th> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <th>依存性着目ポイント名称</th> <th>温度</th> <th>最大変位</th> <th>繰り返し回数</th> <th>等価減衰定数</th> <th>最大減衰抵抗力</th> <th>等価減衰定数</th> <th>最大減衰抵抗力</th> <th>等価減衰定数</th> <th>最大減衰抵抗力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(温度1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(温度2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(温度3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small; margin-top: 5px;"> ※変化率=(各回の値-平均値(A))/平均値(A) ※温度の識別：ダンパー本体温度/外気温 </p> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">例 B 図 2. 温度依存性の図示例</p>	载荷制御条件				1回目の値		2回目からn回目までループの平均(A)		2回目からn回目までのループの最大変化率の最大		依存性着目ポイント名称	温度	最大変位	繰り返し回数	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	(温度1)										(温度2)										(温度3)							
载荷制御条件				1回目の値		2回目からn回目までループの平均(A)		2回目からn回目までのループの最大変化率の最大																																										
依存性着目ポイント名称	温度	最大変位	繰り返し回数	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力																																									
(温度1)																																																		
(温度2)																																																		
(温度3)																																																		
			② 依存性情報の再現性が担保できる前提条件： <ul style="list-style-type: none"> 繰返し回数：〇〇回、最大変位：〇〇mm、振幅速度：〇〇mm/sec 試験体の数：〇試験体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記依存性データの根拠となる資料の添付：□あり/□なし (添付資料 No. :) ③ 依存性情報の“ばらつき”の要因として考えられる事項																																															
			④ “ばらつき”について補正が可能な項目については、その項目と補正の方法																																															

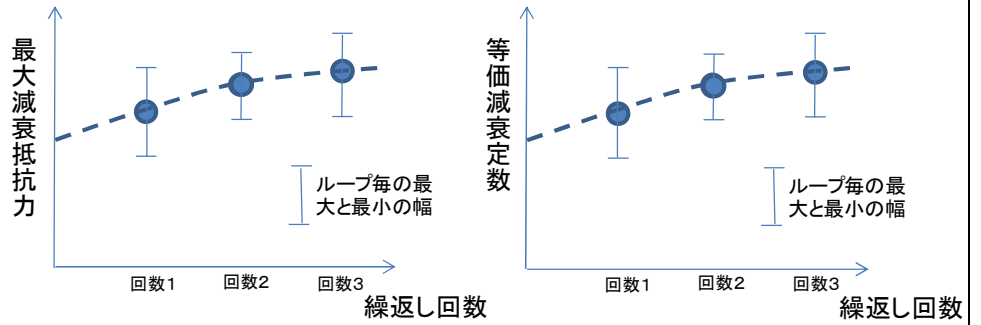
性能評価項目確認書

依存性情報	B-2	各種依存性に関する情報(変位依存性の提示例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着目する依存性因子： 振幅変位量 ① 依存性に関する定量的情報 ・ 依存性の評価指標： 最大減衰抵抗力 																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #0056b3; color: white;"> <th colspan="4">载荷制御条件</th> <th>1回目の値</th> <th>2回目からn回目までの平均(ア)</th> <th>2回目からn回目までの平均(ア)の最大変化率</th> </tr> <tr style="background-color: #a6c9ec;"> <th>依存性着目ポイント名称</th> <th>変位</th> <th>最大変位</th> <th>繰返し回数</th> <th>減衰抵抗力</th> <th>減衰抵抗力</th> <th>減衰抵抗力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(変位1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(変位2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(変位3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">※変化率=(各回の値-平均値(ア))/平均値(ア)</p>			载荷制御条件				1回目の値	2回目からn回目までの平均(ア)	2回目からn回目までの平均(ア)の最大変化率	依存性着目ポイント名称	変位	最大変位	繰返し回数	減衰抵抗力	減衰抵抗力	減衰抵抗力	(変位1)							(変位2)							(変位3)						
载荷制御条件				1回目の値	2回目からn回目までの平均(ア)	2回目からn回目までの平均(ア)の最大変化率																															
依存性着目ポイント名称	変位	最大変位	繰返し回数	減衰抵抗力	減衰抵抗力	減衰抵抗力																															
(変位1)																																					
(変位2)																																					
(変位3)																																					
例 B 図 3. 変位依存性の図示例																																					
② 依存性情報の再現性が担保できる前提条件： 繰返し回数：○○回、最大変位：○○mm、振幅速度：○○mm/sec 試験体の数：○試験体																																					
・ 上記依存性データの根拠となる資料の添付： <input type="checkbox"/> あり / <input type="checkbox"/> なし (添付資料 No. :)																																					
③ 依存性情報の“ばらつき”の要因として考えられる事項																																					
④ “ばらつき”について補正が可能な項目については、その項目と補正の方法																																					

性能評価項目確認書

各種依存性に関する情報(繰返し振幅回数による依存性の提示例)

- ・ 着目する依存性因子：繰返し振幅回数
- ① 依存性に関する定量的情報
- ・ 依存性の評価指標：最大減衰抵抗力、等価減衰定数



载荷制御条件			1回目の値		2回目からn回目までループの平均(ア)		2回目からn回目までのループの変化率の最大	
依存性着目ポイント名称	繰返し回数	最大変位	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力	等価減衰定数	最大減衰抵抗力
(回数1)								
(回数2)								
(回数3)								

※変化率=(各回の値-平均値(ア))/平均値(ア)

例 B 図 4. 繰返し载荷回数依存性の図示例

- ② 依存性情報の再現性が担保できる前提条件：
 - 最大変位：○○mm、振幅速度：○○mm/sec
 - 試験体の数：○試験体
- ・ 上記依存性データの根拠となる資料の添付：□あり/□なし (添付資料 No. :)
- ③ 依存性情報の“ばらつき”の要因として考えられる事項
- ④ “ばらつき”について補正が可能な項目と補正の方法

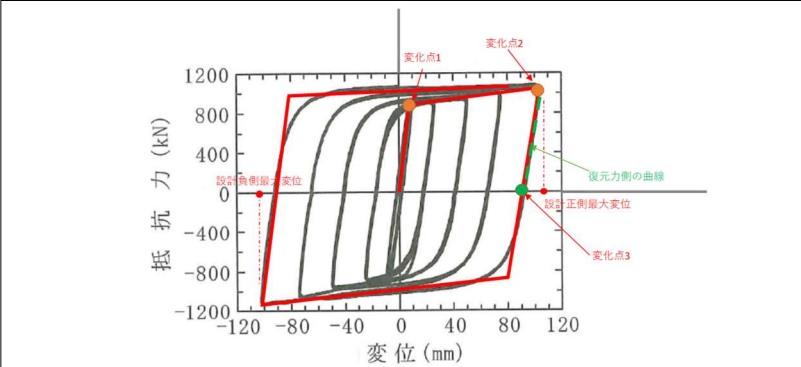
依存性情報

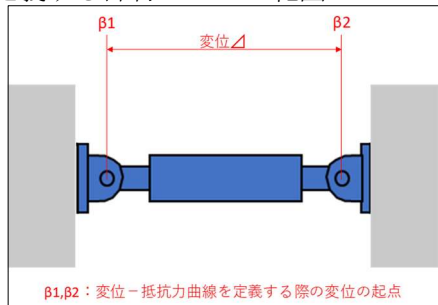
B-2

性能評価項目確認書

材料情報	C-1	材料の機械的性質・力学的特性・化学的特性に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐荷性能、減衰性能に直接影響する部分に使用されている材料の情報 <p style="text-align: center;">例 C 表 1. 耐荷性能・減衰性能に直接影響する材料情報の表示例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #0056b3; color: white;"> <th style="width: 15%;">材料の種別</th> <th style="width: 15%;">耐荷性能・減衰性能に影響を及ぼす特性値の種類</th> <th style="width: 25%;">耐荷性能・減衰性能への影響内容</th> <th style="width: 15%;">規格区分</th> <th style="width: 30%;">規格名 or 規格の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低降伏点鋼材</td> <td>降伏点強度</td> <td>設計用履歴曲線の定義に影響する。 (この特性値が減衰性能にどう影響するかを記述)</td> <td> <input type="checkbox"/>道示規定 <input type="checkbox"/>JIS規格 <input type="checkbox"/>自主規格 <input type="checkbox"/>その他 </td> <td>道示規定やJIS規格、自主規格の場合はその規格名称、それ以外の場合は規格等の内容を記述</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> <input type="checkbox"/>道示規定 <input type="checkbox"/>JIS規格 <input type="checkbox"/>自主規格 <input type="checkbox"/>その他 </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> <input type="checkbox"/>道示規定 <input type="checkbox"/>JIS規格 <input type="checkbox"/>自主規格 <input type="checkbox"/>その他 </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性能根拠としては、道示規定や JIS 規格以外の場合、特性値を設定した際の性能検証試験の結果を可能な範囲で提示してください。 ・ 性能根拠資料の添付：<input type="checkbox"/>あり/<input type="checkbox"/>なし（添付資料 No. : ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐荷性能、減衰性能を確保するために求められる耐久性能に関する部分に使用されている材料の情報 <p style="text-align: center;">例 C 表 2. 耐荷性能・減衰性能確保のための耐久性能に関する材料情報の表示例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #0056b3; color: white;"> <th style="width: 15%;">材料の種別</th> <th style="width: 15%;">耐久性能に影響を及ぼす特性値の種類</th> <th style="width: 25%;">耐久性能への影響内容</th> <th style="width: 15%;">規格区分</th> <th style="width: 30%;">規格名 or 規格の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低降伏点鋼材</td> <td>耐腐食性</td> <td>ダンパー本体の設計耐久期間に影響する。 (この特性値が耐久性能にどう影響するかを記述)</td> <td> <input type="checkbox"/>道示規定 <input type="checkbox"/>JIS規格 <input type="checkbox"/>自主規格 <input type="checkbox"/>その他 </td> <td>道示規定やJIS規格、自主規格の場合はその規格名称、それ以外の場合は規格等の内容を記述</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> <input type="checkbox"/>道示規定 <input type="checkbox"/>JIS規格 <input type="checkbox"/>自主規格 <input type="checkbox"/>その他 </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> <input type="checkbox"/>道示規定 <input type="checkbox"/>JIS規格 <input type="checkbox"/>自主規格 <input type="checkbox"/>その他 </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性能根拠としては、道示規定や JIS 規格以外の場合、特性値を設定した際の性能検証試験の結果を可能な範囲で提示してください。 ・ 性能根拠資料の添付：<input type="checkbox"/>あり/<input type="checkbox"/>なし（添付資料 No. : ） 	材料の種別	耐荷性能・減衰性能に影響を及ぼす特性値の種類	耐荷性能・減衰性能への影響内容	規格区分	規格名 or 規格の内容	低降伏点鋼材	降伏点強度	設計用履歴曲線の定義に影響する。 (この特性値が減衰性能にどう影響するかを記述)	<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他	道示規定やJIS規格、自主規格の場合はその規格名称、それ以外の場合は規格等の内容を記述				<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他					<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他		材料の種別	耐久性能に影響を及ぼす特性値の種類	耐久性能への影響内容	規格区分	規格名 or 規格の内容	低降伏点鋼材	耐腐食性	ダンパー本体の設計耐久期間に影響する。 (この特性値が耐久性能にどう影響するかを記述)	<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他	道示規定やJIS規格、自主規格の場合はその規格名称、それ以外の場合は規格等の内容を記述				<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他					<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他	
材料の種別	耐荷性能・減衰性能に影響を及ぼす特性値の種類	耐荷性能・減衰性能への影響内容	規格区分	規格名 or 規格の内容																																							
低降伏点鋼材	降伏点強度	設計用履歴曲線の定義に影響する。 (この特性値が減衰性能にどう影響するかを記述)	<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他	道示規定やJIS規格、自主規格の場合はその規格名称、それ以外の場合は規格等の内容を記述																																							
			<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他																																								
			<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他																																								
材料の種別	耐久性能に影響を及ぼす特性値の種類	耐久性能への影響内容	規格区分	規格名 or 規格の内容																																							
低降伏点鋼材	耐腐食性	ダンパー本体の設計耐久期間に影響する。 (この特性値が耐久性能にどう影響するかを記述)	<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他	道示規定やJIS規格、自主規格の場合はその規格名称、それ以外の場合は規格等の内容を記述																																							
			<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他																																								
			<input type="checkbox"/> 道示規定 <input type="checkbox"/> JIS規格 <input type="checkbox"/> 自主規格 <input type="checkbox"/> その他																																								
品質管理情報	D-1	品質管理に関する情報	①製品出荷時に行う品質管理の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 確認（検査）項目： ・ 確認方法： ・ 確認の頻度： ・ 合否判定の方法： <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質管理情報として、出荷時検査だけでは品質の妥当性を確認することができない管理項目があれば、その管理項目を示した上で、その管理方法についても提示してください。 ②C-1 で挙げた材料について、その品質確保が適切になされていることを追跡し確認することができる方法（材料のトレーサビリティの方法）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質確認試験要領マニュアル類の添付：<input type="checkbox"/>あり/<input type="checkbox"/>なし（添付資料 No. : ） ・ 品質管理項目や管理内容についての使用者からの注文への対応状況： 																																								

性能評価項目確認書

設計に関する情報	E-1	解析に用いる減衰特性の力学モデルに関する情報	<p>①力学モデルを構成する各変化点の定義, ②変化点の特性値とそのばらつき, ③力学モデルを再現することのできる前提条件</p> <div style="text-align: center;">  </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #4a7ebb; color: white;"> <th style="width: 10%;">変化点</th> <th style="width: 10%;">変位量</th> <th style="width: 15%;">抵抗力値 (平均値)</th> <th style="width: 10%;">バラツキ ±%</th> <th style="width: 20%;">①変化点の定義</th> <th style="width: 35%;">本図・本表に示すモデル特性値を再現することのできる前提条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="font-size: small;"> ・外気温 : ・速度 : ・繰返し回数 : etc </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">例 E 図 1. 本技術の解析モデルの図示例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減衰抵抗が複数の方向にある場合は、変化点の定義（例 E 図 1. の図示）は、「技術基本情報」に挙げる例基図 1. の減衰抵抗力の各作用力の方向について提示してください。 ・力学モデルは、変位－抵抗力特性や速度－抵抗力特性等、応募技術の特性に応じて、当該技術を設計に用いる際に想定される各解析条件に適切なモデルで提示してください（複数提示可）。 	変化点	変位量	抵抗力値 (平均値)	バラツキ ±%	①変化点の定義	本図・本表に示すモデル特性値を再現することのできる前提条件	1					・外気温 : ・速度 : ・繰返し回数 : etc	2					3				
	変化点	変位量	抵抗力値 (平均値)	バラツキ ±%	①変化点の定義	本図・本表に示すモデル特性値を再現することのできる前提条件																			
	1					・外気温 : ・速度 : ・繰返し回数 : etc																			
2																									
3																									
E-2	取付け部の設計に関する情報	<p>①取付け部の設計上の制約条件や留意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋の設計者が取付け部の設計を行うにあたって、当該製品が減衰抵抗力を発揮することのできる作用力の方向以外の方向についての 2 次応力や、施工誤差の影響を考慮した設計方法等、橋本体側を設計する上での照査や検討が必要な項目があれば記載してください。 ・本技術を耐震設計に適用しようとする場合には、明らかに適用上の制約条件が存在する場合には、その内容を付記してください。 																							
F-1	施工方法に関する情報	<p>①施工上の留意事項、施工上の条件等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取付けや交換に際して留意すべき事項や、施工上の制約条件等があれば記載してください。 <p style="margin-top: 20px;">・部材取付け・交換要領マニュアル類の添付：□あり／□なし (添付資料 No. :)</p>																							



例 E 図 2. 力学モデルを定義する範囲の図示例

性能評価項目確認書

維持管理に関する情報	G-1	点検・診断に関する情報	①本製品の健全性を把握するための方法、②地震発生後に本製品の健全性を把握するための方法： <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 例 G 表 1. 点検方法の表示例 </div> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr style="background-color: #4a7ebb; color: white;"> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">点検着目箇所</th> <th style="width: 25%;">点検時確認項目</th> <th style="width: 35%;">点検方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td style="text-align: center;">日常点検</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td style="text-align: center;">定期点検</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td style="text-align: center;">異常時点検 (地震時含む)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> • 製品点検要領マニュアル類の添付： <input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし (添付資料 No. :) ③性能低下の有無等を供用中に判断できる確認方法 (診断方法)： <ul style="list-style-type: none"> • 減衰性能の低下の有無の判断と、減衰性能を発揮する前提となる耐久性に係る性能の低下の有無の判断のそれぞれの観点から確認方法を提示してください。 • 性能根拠としては、上記の診断方法を定める根拠となった情報 (診断の閾値を定める根拠となった試験結果等) を提示してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 性能根拠資料の添付： <input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし (添付資料 No. :) 		点検着目箇所	点検時確認項目	点検方法	日常点検				定期点検				異常時点検 (地震時含む)			
		点検着目箇所	点検時確認項目	点検方法															
日常点検																			
定期点検																			
異常時点検 (地震時含む)																			
G-2	維持修繕に関する情報	①定期的に維持行為が必要となる事項とその時期： <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 例 G 表 2. 定期的維持行為の表示例 </div> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr style="background-color: #4a7ebb; color: white;"> <th style="width: 60%;">定期的に行う必要がある (行うのが望ましい) 維持行為の項目</th> <th style="width: 40%;">実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td></td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #d9e1f2;"> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ②地震発生後、本技術の適用範囲を超えたと判断された場合の手入れや交換等が必要となる部品：	定期的に行う必要がある (行うのが望ましい) 維持行為の項目	実施時期															
定期的に行う必要がある (行うのが望ましい) 維持行為の項目	実施時期																		
その他	H-1	その他の留意事項	①設定した項目に応じた特性値への影響量等： <ul style="list-style-type: none"> • 上記の依存性情報や材料情報で挙げた項目以外で、減衰性能に大きく影響する重要性の高いその他事項として該当する項目があれば明示してください。(例：材料の毒性、耐火性、寸法依存性 (長ストロークによる影響) 等) • また当該項目に対する性能検証を行っている場合はその結果も参考添付してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 性能根拠資料の添付： <input type="checkbox"/>あり / <input type="checkbox"/>なし (添付資料 No. :) 																